

準備

Oリングと防滴パッキンの準備

- 本機に取り付けてあるOリングを取りはずす。
- Oリングにグリスを塗る。
Oリング、溝および本体との接触面の砂やゴミなどをきれいに取り除き、Oリングに薄く均一にグリスを塗る。
- Oリングを取り付ける。
- 防滴パッキンに砂やゴミが付着していないかを確認する。

ご注意

- 防滴パッキンをはずしたり、グリスを塗らないでください。
- 砂やゴミが付着したままふたを開めると、本体に傷をつけたり、水漏れの原因となることがあります。

別冊のOリングメンテナンスマニュアルを必ずお読みください。
Oリングの取り扱いについての重要な説明が書かれています。

カメラの準備

カメラを本機に取り付けて使用するには、カメラのハウジング設定を「入」にする必要があります。詳しくは、下記の手順4をご覧ください。

- カメラの取り付けは、湿度の少ない室内などでおこなってください。高温多湿な場所での本機の開閉は、本機前部のくもりの原因となります。
- カメラの水滴は拭きとり、充分に乾燥させた状態で本機に取り付けてください。

カメラの取扱説明書、サイバースhotsユーザーガイド(付属CD-ROM)もあわせてご覧ください。

- カメラのストラップをはすす。
- バッテリー、メモリーカードを入れる。
十分に充電してあるバッテリーを入れてください。
十分に容量のあるメモリーカードを入れてください。
- レンズカバーを下げ、電源を入れる。
レンズカバーを下げるときは、レンズに触れないように注意してください。
- ハウジング設定を「入」にする。
ハウジング設定が「入」になっていることを確認してください。

ハウジングの設定方法
MENU→ (設定)→vT(本体設定)→[ハウジング]→[入]

- 設定後、カメラの使える機能が制限されます。撮影モードごとに操作できる機能のみが表示されます。必要に応じて設定してください。
- 本機取り付け後は、MENUボタンは使用できません。(連写設定などの機能は、本機に取り付けた後は行えません)

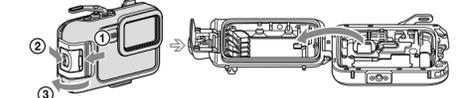
- レンズや液晶画面が汚れていないことを確認する。

ご注意

- 水中ホワイトバランスは「オート」をおすすめします。
- 連写の設定をする場合は本機に取り付ける前に行ってください。連写で撮影した画像を削除する場合は、「再生する」の表に従って削除を行ってください。
- AF-ILミネーターは使用できません。ハウジングモードに設定すると、自動的にAF-ILミネーターが「切」の状態になり使用できなくなります。
- カメラに付属のペイントペンは使用できません。

カメラを本機に取り付ける

- 本機を開ける。

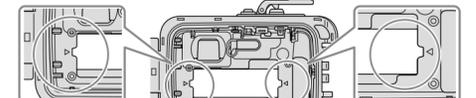


ボタン①を押しながら、ボタン②をスライドさせる。
バックルを③の方向にあげ、本機を開く。

ご注意

スパーサーは、本機を保管する際に必要ですので、紛失しないようにご注意ください。

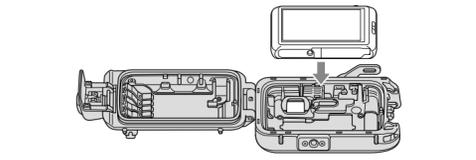
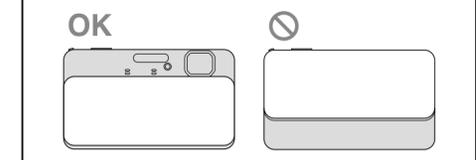
- 乾燥剤を取り付ける。
本機フロント部の乾燥剤スペースに乾燥剤を置き、フロントアタッチメントの○部分で押さえてください。乾燥剤は、イラストのように左右の端を○部分にしっかり押し込んでください。



* 付属の乾燥剤は撮影の1〜2時間前に入れてください。

- カメラのON/OFF(電源)ボタンを押して電源を「OFF」にする。
- 本機にカメラを取り付ける。

カメラのレンズカバーは下げた状態にしてください。レンズカバーが上がった状態で無理に本機を閉じようとすると故障の原因になります。
カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



カメラが正しく入っているか確認してください。

- ボディを閉じて、バックルを締める。
ボディをしっかりと押しさえ、バックルがカチッとロックされるまで押してください。



ご注意

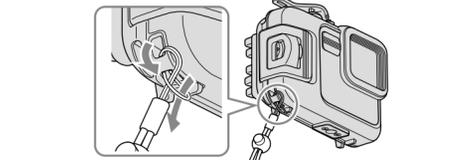
本機のボディを閉じるとき、Oリングの表面と本機の溝に、ゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。異物をはさみ込むと、水漏れの原因となることがあります。

本機へ取り付け後、使用できる外部ボタン
ON/OFF(電源)ボタン、シャッターボタン
撮影モード：「撮影」/再生切り換え「T」/「W」/モード切り換え「」/「マクロ」/「動画撮影」/停止「」/「パノラマ画像サイズ」
再生モード：「撮影」/再生切り換え「」/「画送り」/「画戻し」/「削除」
「T」/「W」/「動画再生」/一時停止「」

付属品を取り付ける

ハンドストラップを取り付ける

ご使用前に付属のハンドストラップを取り付けることをおすすめします。



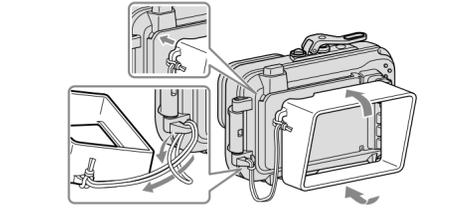
ご注意

本機のボディを閉じるときに、ハンドストラップのはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

液晶フードの取り付け、取りはずしかた

取り付けかた

- 付属の脱落防止ひもを取り付ける。
- 図のように液晶フード取り付け用のガイド凹部にあわせて強く押し込む。

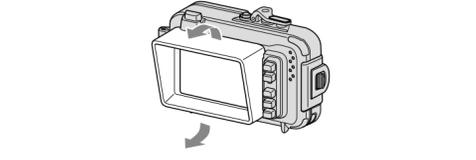


ご注意

本機のボディを閉じるときに、脱落防止ひものはさみ込みにご注意ください。はさみ込むと水漏れの原因となることがあります。

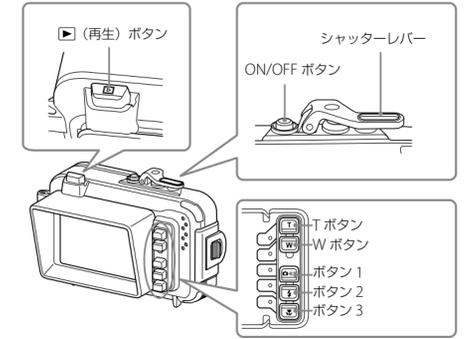
取りはずしかた

液晶フードを外に広げるようにして、ガイドから取りはずします。



本機を使う

撮影する



- 電源を入れる。



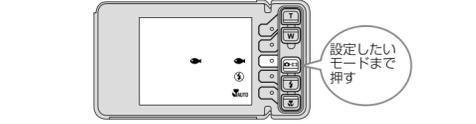
- 撮影状態を設定する。
本機のボタン1、2、3を押し、各撮影状態を設定します。

ボタン1、2、3の操作方法

ボタンを押すときは、ゆっくり押ししてください。
ボタンを離したときに操作の結果が表示されます。
ボタン左の液晶内アイコンは、ボタンを離した後数秒で消えます。
画面上のアイコン表示
①1回目 …… 現状の設定を表示するのみです。



次のモードに移りたい場合は、現在の設定が表示されている間にもう一度同じボタンを押して離します(2回目)。
②2回目 …… 次のモードに切り換わり、画面中央とボタンの左に選択しているモードのアイコンが表示されます。
(画面中央のアイコンはモードが切り換わったときのみ表示されます)
設定したいモードに切り換わるまで①②を繰り返してください。



アイコンが表示されている間にボタンをもう一度押しと、続けて次のモードに切り換えます。

ご注意

- 電源を入れながらボタンを押したり、電源を入れた直後にボタンを押すと、ボタンの機能が正しく働かないことがあります。電源を入れた後は、液晶表示が完全に表示されて数秒してからボタンを押してください。
- 上記②(2回目)で、ボタン1を押しして撮影モードを切り換えるとき、iC(スイングパノラマ)とiM(おまかせオート撮影)に切り換わった場合はボタン1の横にアイコンが表示されませんが、これは故障ではありません。そのまま操作を続けてください。

本機で使用できるモード

ボタン1 / (撮影モード) ボタン	ボタン2 / (フラッシュ) ボタン	ボタン3 / (マクロ) ボタン
iC(おまかせオート撮影)	fAuto(オート)*3 ④(発光禁止) f(強制発光) ⑤(発光禁止)	fAuto(オート) iQ(拡大鏡入) fAuto(オート) iQ(拡大鏡入)
水(水)*1	f(強制発光) ④(発光禁止)	-
水(ビーチ)	f(強制発光) ④(発光禁止)	-
水(スノー)	f(強制発光) ④(発光禁止)	-
iC(スイングパノラマ)	*4	 (パノラマ画像サイズ)
iC(水中スイングパノラマ)*1、*2	*4	 (パノラマ画像サイズ)
iM(おまかせオート撮影)		-
水(水)*1		-

*1 水中での撮影は、水(水)、水中スイングパノラマまたは水中での撮影をおすすめします。

*2 水中でパノラマ撮影する際は、体を安定させて撮影することをおすすめします。

*3 f(強制発光)には設定できません。また、iQ(拡大鏡入)撮影時には④(発光禁止)となります。

*4 パノラマ画像サイズを「HRJ」にすると、撮影方向は2方向になります。

カメラの取扱説明書、サイバースhotsユーザーガイド(付属CD-ROM)もあわせてご覧ください。

3 撮影する

静止画：

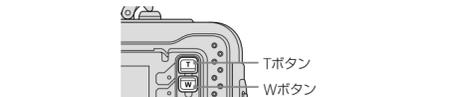
シャッターレバーを押して撮影してください。
スイングパノラマ：
シャッターレバーを押して撮影してください。

動画：

ボタン2を押して撮影してください。
●撮影開始
ボタン2を1度押しで離し、MOVIEが表示されている間にもう一度押しして離すと撮影が始まります。
画面中央上部には「録画」が表示されます。
●撮影停止
ボタン2を押して離し、STOPが表示されている間にもう一度押しして離すと撮影を停止します。
画面中央上部には「スタンバイ」が表示されます。
動画撮影中に静止画撮影するときは、動画撮影中にシャッターレバーを押してください。



ズーム機能を使う



Tボタンを押し続けると、徐々に望遠(Telephoto)になります。
Wボタンを押し続けると、徐々に広角(Wide)になります。

ご注意

- 撮影一時停止状態が一定時間続くると自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぐためです。再度撮影するには、電源を入れ直してください。
- カメラの温度が上がると自動的に電源が切れたり、撮影ができなくなる場合があります。
- 本機でフラッシュ撮影を行う場合、フラッシュ到達距離が短くなり全体的に暗くなる傾向があるため、撮影環境(真暗な場所など)によっては撮影距離が大幅に短くなることがあります。その場合は外付けの水中ライトやフラッシュの併用をおすすめします。
- 水中でフラッシュを発光すると、水中の浮遊物に反射して、多数の丸い光として撮影されてしまう場合があります。
- 撮影条件によっては、写り込みが発生する場合があります。そのような場合は撮影条件を変えてご使用ください。
- カメラの拡大鏡モードでは、本機内のガラス面のほこりやゴミにピン트가合うことがあります。その際、ガラス面のほこりやゴミを取り除いてください。
- 動画撮影時は、音声を正常に記録することはできません。

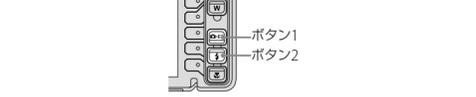
再生する

本機の再生ボタンで撮影した画像を見ることができます。このとき音声は聞こえません。

- 電源を入れる。
- 再生ボタンを押す。



- ボタン1、2を操作して、再生したい画像を選ぶ。



ボタン1を押すと、次の画像へ
ボタン2を押すと、前の画像へ
再生時、画面上のボタンは次の機能に変わります。

	Tボタン	Wボタン	ボタン1 / (撮影モード) ボタン	ボタン2 / (フラッシュ) ボタン	ボタン3 / (マクロ) ボタン
動画		-			
静止画		-			

Q再生ズームモード①	T(拡大)	W(縮小)	-	X(ズーム解除)	(移動モード)→②へ
移動モード②					Q(再生ズームモード)→①へ

ご注意

- 他のカメラで撮影・記録した画像がメモリーカード内にある場合、カメラでの設定が必要になることがあります。詳しくはお使いのカメラの取扱説明書、サイバースhotsユーザーガイド(付属CD-ROM)をご覧ください。
- iC(スイングパノラマ)、水中スイングパノラマの再生時は、静止画と同じボタン操作です。

カメラを取りはずす

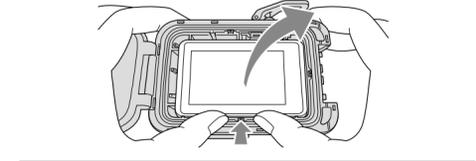
- 電源を切る。

カメラを出し入れするときは、必ず電源を切ってください。



- 本機を水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴をふき取る。
本機を開けたときに、体や毛髪、ウエットスーツの袖口などからの水滴がカメラにかからないようにご注意ください。

- 本機を開ける。
- 指でカメラを持ち上げるように押し、カメラを取り出す。
長時間ご使用になったときは、カメラが熱くなります。電源を切ってからしばらく放置したあとに、カメラを取り出してください。



カメラを取り出すとき、落とさないようにご注意ください。

- カメラのハウジング設定を「切」にする。

ハウジングの設定方法
MENU→ (設定)→vT(本体設定)→[ハウジング]→[切]

ご注意

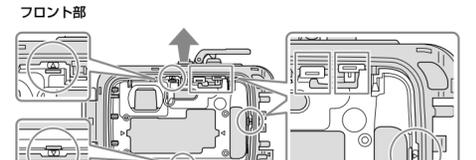
ハウジング設定が「入」の状態では通常のボタン操作ができません。カメラ単体で使用する際は、必ずカメラのハウジング設定を「切」にしてください。

アタッチメントを取りはずす、取り付ける

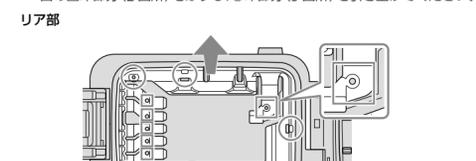
アタッチメントを着脱する際は、無理な力を加えないでください。

* 通常はアタッチメントを着脱する必要はありませんが、着脱する場合は以下の手順で行ってください。

- フロントアタッチメント、リアアタッチメントを取りはずす

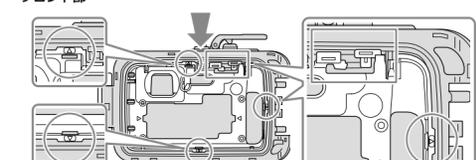


図の□印部分(2箇所)ははずし、○印部分(3箇所)を引き上げてください。



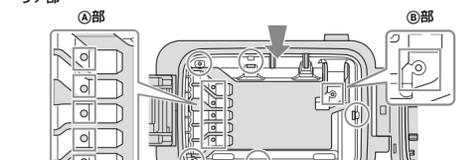
図の□印部分(6箇所)ははずし、○印部分(5箇所)を引き上げてください。

- フロントアタッチメント、リアアタッチメントを取り付ける

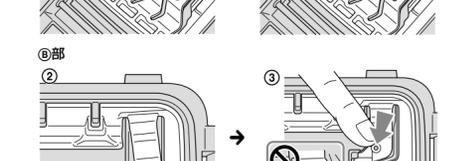
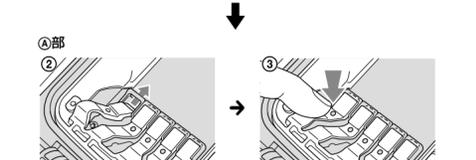
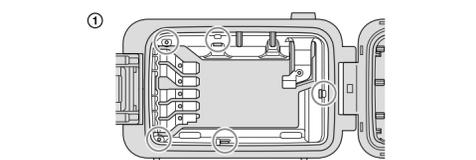


図の○印位置を本機に押し込み、次に□印位置をしっかりとめ込んでください。

アタッチメント交換後、正常に操作できるか確認してください。



- 印をすべて押し込む。
- リアアタッチメントの先端をレバーのトンネル部分に通してはめ込む。
アタッチメントが斜めにずれないようにはめる。(④部は5箇所すべてで行う)
- リアアタッチメントの穴にレバーの丸ボスを合わせて、浮かないように上から押す。
 - 8部を取り付けの際、アタッチメントの角がレバーに乗り上がらないようにしてください。



アタッチメント交換後、本機の操作ボタンを数回押して正常に動作するかご確認ください。

* アタッチメントをはずして保管する場合は、変形させた状態で保管しないでください。